

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-230121

(P2004-230121A)

(43) 公開日 平成16年8月19日(2004.8.19)

(51) Int.Cl.⁷

A47G 25/32

D06F 57/00

F I

A47G 25/32

D06F 57/00

D06F 57/00

B

340

350

テーマコード (参考)

3K099

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2003-60658 (P2003-60658)

(22) 出願日 平成15年1月29日 (2003.1.29)

(71) 出願人 503034906

松田 喜久夫

大阪府箕面市坊島1丁目5番21号

(72) 発明者 松田 喜久夫

大阪府箕面市坊島1丁目5番21号

Fターム(参考) 3K099 AA01 AA04 AA05 BA03 CA38

CA49 CA55 CB06 CB07 CB12

CB13 CB34

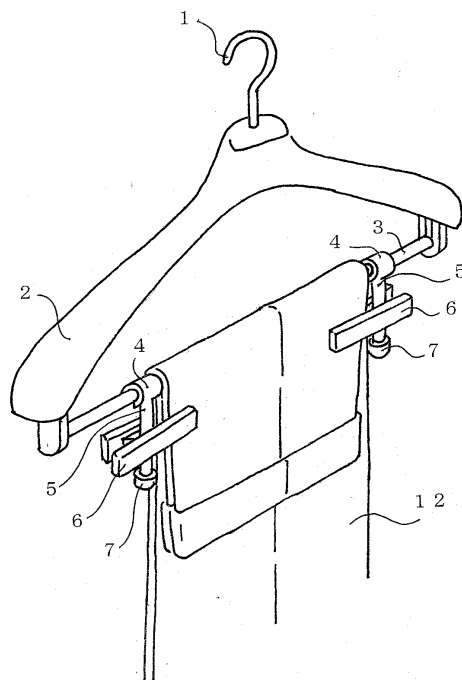
(54) 【発明の名称】 横向きクリップ付き衣料用ハンガー

(57) 【要約】

【課題】クリップ付きの衣料用ハンガーで、ズボンやスカートをクリップで吊り下げた場合、クリップの握力にも限界があり、ズボン、スカートの自重や振動や生地 of 性質により滑り落ちる難点があった。これらを解消するため、ズボン、スカートをしっかりハンガーに固定出来る衣料用ハンガーを提供する。

【解決手段】衣料用ハンガー下部の横方向に設けられたバーに一对のスライド部を設け、このスライド部から下方に突出する支持部をそれぞれ設け、これら一对の支持部に横向きにクリップを取り付けた。これら一对の横向きクリップでハンガーのバーに折り返し掛けしたズボン、スカート等の両側を挟んで固定出来るようにした。

【選択図】 図6



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ハンガー本体下部の横方向に設けられたバーに、スライド可能な一对のスライド部を設け、このスライド部から下方に突出する支持部をそれぞれ設け、これら一对の支持部に横向きにクリップを取り付ける。これら一对のクリップでハンガーのバーに折り返し掛けしたズボン、スカート等の両側を挟んで固定する横向きクリップ付き衣料用ハンガー。

【請求項 2】

請求項 1 の横向きクリップ付き衣料用ハンガーにおいてクリップが支持部に対して回転自在または支持部がスライド部に対して回転自在である。

【発明の詳細な説明】

10

【0001】**【発明の属する技術分野】**

本発明は、衣料用ハンガーに掛けたズボン、スカート等が容易に滑り落ちない衣料用ハンガーに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、ハンガー下部の横向きバーにクリップを下向きに取り付けて、ズボン、スカート等をクリップで挟み吊り下げる衣料用ハンガーがあった。

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**

20

クリップでズボン、スカートを挟み吊り下げる手段は、クリップの握力に頼る為、ズボン、スカートの自重や振動や生地の種類により滑り落ちる難点があった。またクリップの握力にも限界があった。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本発明は、図 1 で示すようにハンガー本体 2 下部の横方向に設けられたバー 3 に一对のスライド部 4 を設け、このスライド部 4 から下方に突出する支持部 5 をそれぞれ設け、これら一对の支持部 5 に横向きにクリップ 6 を取り付けた。これら一对の横向きクリップ 6 でハンガーのバー 3 に折り返し掛けしたズボン、スカート等の両側を挟んで固定出来るようにした。

30

【0005】**【発明の実施の形態】**

ハンガー本体 2 下部の横方向に設けられたバー 3 は、合成樹脂または金属または木製で、断面形状は図 2、図 3 の円形 13 または図 4、図 5 の長方形 14 である。このバーに弾性の合成樹脂のスライド可能な一对のスライド部 4 を設ける。

【0006】

このスライド部 4 をバーにとりつける構造は、バーの断面が円形 13 の場合は円形の開口 9 を設ける。または円形開口の下部をフック状に開口 8 してとりつける。バーの断面が長方形 14 の場合は長方形の開口 11 を設ける、または長方形開口 11 の下部をフック状に開口 10 してとりつける。このスライド部 4 から下方に突出する支持部 5 を設ける。

40

【0007】

これら一对の支持部 5 に横向きに金属と金属、または金属と合成樹脂、または合成樹脂と合成樹脂で構成されたクリップ 6 を取り付ける。また支持部 5 の下部にキャップ 7 を設ける。

【0008】

横向きクリップ 6 は支持部 5 に対して回転自在または支持部 5 がスライド部 4 に対して回転自在である。

【0009】

図 6 で示すように、これら一对の横向きクリップ 6 でハンガーのバー 3 に折り返し掛けしたズボン 12、スカートの両側を挟んで固定する。またスライド部 4 でクリップ 6 間の間

50

隔を調整できるためズボン、スカートのサイズに合わせて固定出来る。

【 0 0 0 1 0 】

【 発明の効果 】

横向きクリップ 6 でハンガーのバー 3 に折り返し掛けしたズボン 1 1、スカート等の両側を挟んで固定出来るようになった。ハンガーにズボンを掛けて、数日後にみると、大切なズボンが滑り落ちてシワが付いていたということが解消され、アイロンの二度掛けの必要も無くなり安心して収納出来るようになった。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 横向きクリップ付き衣料用ハンガーの斜視図。

【 図 2 】 円形バー、フック状円形開口のスライド部、支持部、クリップ、キャップの構成図 10

【 図 3 】 円形バー、円形開口のスライド部、支持部、キャップの構成図

【 図 4 】 長方形バー、フック状長方形開口のスライド部、支持部、キャップの構成図

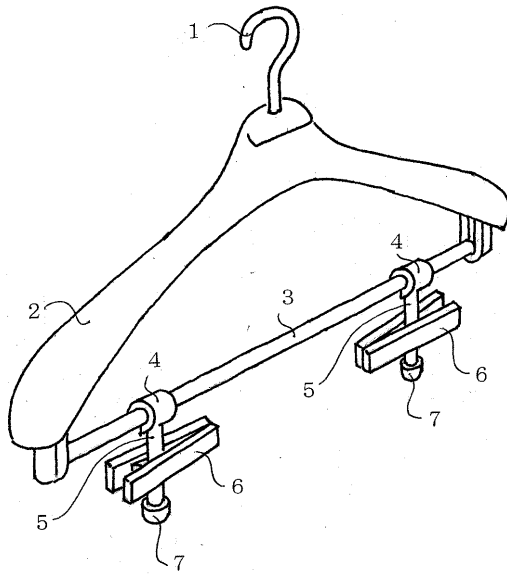
【 図 5 】 長方形バー、長方形開口のスライド部、支持部、キャップの構成図

【 図 6 】 横向きクリップ付き衣料用ハンガーに、ズボンを掛けてクリップで固定した使用時の斜視図。

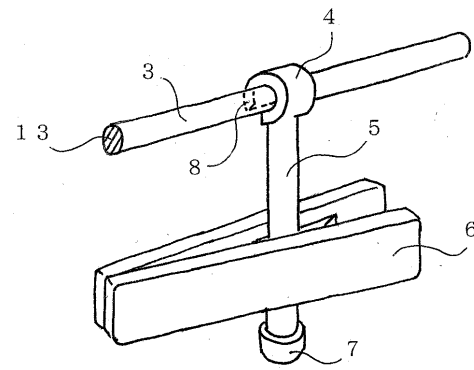
【 符号の説明 】

- | | | |
|-----|-----------|----|
| 1 | フック | |
| 2 | ハンガー本体 | |
| 3 | バー | 20 |
| 4 | スライド部 | |
| 5 | 支持部 | |
| 6 | クリップ | |
| 7 | キャップ | |
| 8 | フック状円形開口 | |
| 9 | 円形開口 | |
| 1 0 | フック状長方形開口 | |
| 1 1 | 長方形開口 | |
| 1 2 | ズボン | |
| 1 3 | バーの断面が円形 | 30 |
| 1 4 | バーの断面が長方形 | |

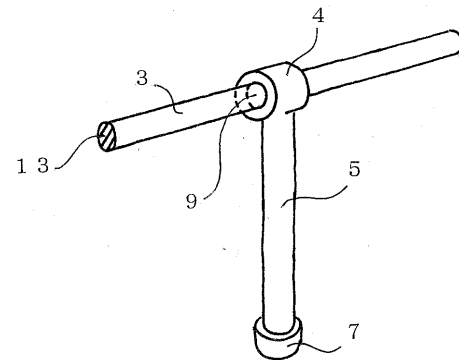
【図 1】



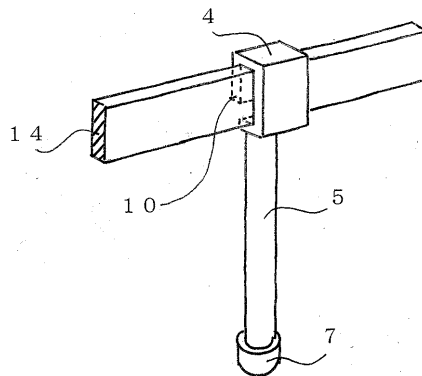
【図 2】



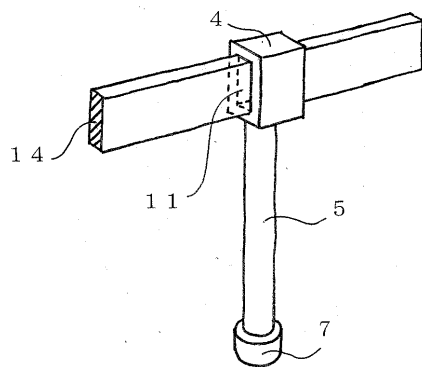
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

